

説明が聞こえにくい方はいませんか？



高齢化に伴い、難聴の人が増えています。病院など医療の現場で、難聴の患者さんは困っていますが、その実態は、あまり知られていませんでした。

このたび、難聴の症状のある職員の提案で、職員全員を対象にアンケートや勉強会を行ない、次のようなことがわかりました。

難聴者は外見ではわからず、病院職員も対応に困ったことがある

難聴者も言い出しかねて遠慮していた

難聴者は人によりさまざまな症状があり聞こえ方（聞こえない音域など）も一様ではない、ということが知られていない

患者さん誰もが診療の情報を受け取れるような環境を整える必要がある

これをもとに、木村病院では、以下のような工夫をしました

聞こえにくいことを示しやすい環境を整えました

- ① 「耳マーク」の表示 【筆談します・状況に応じてマスクを外します】
- ② 問診票に「聴力」を記入する欄を作成しました

会話の補助となるツールを用意しました

- ③ 会話補助の為に会話帳（病院でよく使われる会話を絵と言葉で表したもの）を用意しました
- ④ コミュニケーションボード 筆談用のコミュニケーションボードを用意しました

1 耳が聞こえにくい方はお気軽にお申し出ください

筆談や（筆談ボードあります）状況に応じてマスクをはずして対応させていただきます

特定医療法人 一成会 木村病院

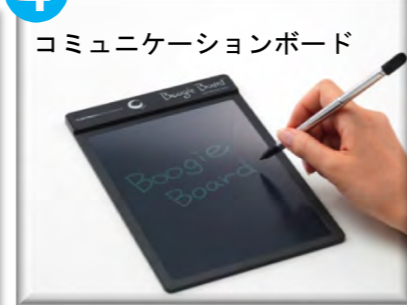


聞こえが不自由なことを表す「耳マーク」です

問診票

初診（始めて受診・3ヶ月ぶりの受診の方）用

フリガナ	記入日	西暦201 年 月 日
名前	聴力	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや困難 <input type="checkbox"/> 困難
今回の受診の症状について教えてください	視力	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや困難 <input type="checkbox"/> 困難
① どのような症状がありますか？	意思疎通	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや困難 <input type="checkbox"/> 困難



医療は、患者さんの情報を正しく受け取り、患者さんに病気や検査の情報を正しく理解していただくことから始まります。受付・診察・会計の呼び出し、医師・看護師からの説明が聞こえにくい方は、職員にお知らせください。

ほっとニュース

発行：特定医療法人 一成会 木村病院 / 企画広報室

特定医療法人 一成会 理念

みんなの元気のパートナー



災害時医療救護訓練を実施しました

特定医療法人 一成会 理事長 ・ 木村病院 院長 木村 厚

短い秋が終わって、あっという間に冬が来ました。皆様お元気ですか。

さて、今年も当院恒例の災害時医療救護訓練を行ないました。

災害時医療で大切なのは、「三つの T」と言われています。「トリアージ Triage」「治療 Treatment」「搬送 Transport（他病院への搬送）」で、今回の訓練では、このうち「トリアージ」と「治療」を実施しました。

「トリアージ」とは、災害時等に、医療を必要とする人が大量に生じた場合、限られた医療資源で効果的な医療を行うための方法です。その必要性を、地域の方々にもわかって頂くことが重要で、2008年以来、毎年、稲穂睦の会・消防団・更生保護女性会の方々をお招きして、訓練を実施してきました。

2011年3月11日、東日本大震災が起き、病院も大災害時にはそれなりの被害を受ける、ということをおもって、訓練の内容を見直しました。

起きてほしくはないことですが、大災害は必ずやってきます。しかも、この辺りは、都内でも指折りの危険地域です。最悪の事態に備えた準備と、地域の方々との常日頃からのご協力が大切と考えています。よろしくお願いいたします。

寒い日が続きますが、お元気でお過ごしください。



テント設営








今回の『災害時医療救護訓練』で目指したもの

昨年同様、災害時に起こるであろう状況を現実的に想定しました。訓練の前半は、災害直後に必要な基本動作を時間の流れに沿って行ない、後半は、災害時に必要となる活動をグループに分けて実施しました。より現実近づけるため、初動訓練は、最初から用意しておくのではなく、院長の「災害時宣言」を受けて、本部設営、テント設営を行ないました。このテントは、今回初めて準備したもので、災害時にもよく目立つようにと黄色にしました。個別訓練では、初めてのメニューとして、新たな搬送具「レスキューシート」の搬送訓練と、病院周辺の確認を行ないまし



*** 当日の様子 *** 11月16日(土) 午後2時から4時半まで

参加者105名：(尾久消防署8名、消防団8名、町屋1・2丁目仲町会2名、稲穂睦の会4名、更生保護女性会7名、職員76名)

前半		初動訓練		
後半	トリアージ訓練	搬送訓練		確認通信訓練
	<p>最初のスタートプラストリアージ(一次トリアージ)を外のテントで医師・看護師以外の職員が行ない、赤・黄のタグをつけた患者のみが院内に入ります。この赤・黄の患者について、さらに医師がパットトリアージ(二次トリアージ)を行ないました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>一次トリアージ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>二次トリアージ</p>  </div> </div>	<p>担架を使った搬送訓練と、マットレスの下に敷いておき、いざという時にベッド上の患者さんをそのまま職員一人で素早くベッドから救出する「レスキューシート」の訓練をしました。この訓練も踏まえ、当院でもこのシートの導入を検討中です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>担架搬送</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>レスキューシート</p>  </div> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>トランシーバー</p> </div> <p>病院周辺を歩いて、近隣の建物や消火器の状況を確認しました。途中で、無線機を使って通信を行ない、最後に院内の備蓄倉庫を確認しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>病院周辺の確認</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>備蓄倉庫の確認</p>  </div> </div>	

3つのグループに分れてそれぞれの継ぎました。

院外からご参加いただいた方々からの感想

講評

尾久消防署 予防課防火管理係 三村達也係長より

本日は、木村病院の災害時医療救護訓練を、尾久消防署員8名で確認させていただきました。トリアージ・搬送・確認通信の、どの訓練も意味のある充実した訓練で、かつ、皆さん非常に真剣に取り組んでいました。管内に木村病院並びにその職員の皆さんがいることは、消防署にとっても力強いことです。アドバイスとして1点。最初に本部に被害状況を報告するところで雛型を決め、ホワイトボードに貼るだけにしておけば、時間短縮になります。本日はお疲れ様でした。

★区内の病院の多くが木村病院のようにトリアージの訓練をしてくれると良いと思う。

★新しい搬送方法が見られて大変良かった。階段を降りるのに女性でも出来ることに驚きました。手伝えることがあれば協力したいと思います。

★このような訓練を見る事ができて、安心しました。スタッフの皆様の真剣な態度に感銘を受けました。今後共どうぞ頑張って下さい。

★地域の中で、このように取り組んで下さっている医療機関があることに、とても心強く感じます。ありがとうございます。子供たちも(看護師、理学療法士なので)いつか近くで貢献できれば!!と思います。

★災害が起きた時にどのような事が起こるのか?すごく大変だと思います。いろんな訓練を経験していくことが大切だと思います。今日は、ありがとうございました。

★トリアージ(テント)、場所、方法を考えて実施したらどうか。入り口が狭いのでは・・・。歩行不可能(車椅子等)、入れない。

★訓練内容がどれも充実しており、必要な訓練となっております。地域にとっても、心強いと思われます。

★ 終わりに ★

9月に発表された東京都の「地域危険度測定調査」では、「災害時活動困難度を考慮した危険度」で、この地域は上位となりました。この地域が災害時に危険な地域であることを頭に入れて、常日頃から備え、また、地域の人々と協力体制を作っておくことが大切だと考えています。今後ともよろしくお願ひします。